

「世界を視野に 地域から始めよう」

宮崎大学長 鮫島 浩



宮崎大学は、5学部と7研究科を持つ総合大学で、宮崎県の高等教育の中核を担っています。学部には、教育学部、医学部、工学部、農学部、地域資源創成学部があり、それぞれ独自に、また分野によってはお互いに協力・融合して、特色ある教育、研究、人材育成、地域社会貢献を行っています。

宮崎大学のスローガンは「世界を視野に 地域から始めよう」です。常に世界の動き、時代の要請を念頭に置いて世界レベルの教育や研究を行うことは、大学に課せられた重要な使命です(グローバル・ビジョン)。それと同時に、軸足をしっかり地域社会に据えて、身近な地域の問題を着実に解決することも重要です(ローカル・アクト)。地域の一見些細と思われる問題をとことん追求することで、それが実は世界に通用する重要な問題提起である、あるいは重要な発見に繋がる、ということは多くの先人が認めているところです。宮崎大学が宮崎に存在する意義は、ここにあります。

宮崎大学は地域の産業界、行政、高等教育機関、自治体と良好な連携を築いています。学内には、教育マインドに富んだ多くの教員、素晴らしい研究者、特色ある研究施設や充実した教育施設が整っています。立地条件も、明るい太陽、鮮やかなグリーン環境、海も川も山も一級品が揃い、持続可能な自然豊かな環境に恵まれています。人間性溢れる教職員と、人情味豊かな宮崎県民とで、この地では着実に豊かな多様性のある人間関係が築かれています。この優れた条件のもとで、学生の主体性を重視した数多くの取り組みに是非、参加していただきたいと思います。

明るく楽しい宮崎大学で、有意義な学生生活を過ごし、社会に飛び立ってください。「世界を視野に 地域から始めよう」のスローガンのもと、グローバルな視点を持って、世界や地域で活躍できる人材を輩出しながら、発展し続けていく宮崎大学が、皆さんを待っています。

沿革





教育方針(教育理念、ディプロマ・ポリシー、カリキュラム・ポリシー、アドミッション・ポリシー)

■教育理念

宮崎大学は、「世界を視野に地域から始めよう」のスローガンのもとに、人類の英知の結晶としての学術・文化に関する知的遺産の継承と発展、深奥なる学理の探究、地球環境の保全と学際的な生命科学の創造を目指し、変動する社会の多様な要請に応え得る人材を育成することを教育の理念として掲げています。本学では、これらの理念を具現化するために、以下の教育目標を掲げ充実した教育に取り組んでいます。

1. 人間性の教育

- 高い倫理性と責任感を育むとともに、幅広く深い教養と総合的な判断力を培い、豊かな人間性を涵養する。

2. 社会性・国際性の教育

- 地球規模の視野に立ち、社会の多様な要請に対応して、柔軟で論理的な思考力をもって、社会の発展に積極的に貢献できる社会性・国際性を涵養する。

3. 専門性の教育

- 新たな知の創造につながる専門教育を実施し、獲得した知識・技能を総合的に活用して、自ら発見した課題に適用し、解決する創造的思考力や態度を育成する。

■ディプロマ・ポリシー〔卒業(修了)認定・学位授与に関する方針〕

(学士課程)

宮崎大学では、以下の素養を身に付けるとともに、所定の期間在籍し、基準となる単位を修得した学生に、卒業を認定し、学位(学士号)を授与します。

- 1.社会の一員としての意識を持ち、義務と権利を適正に行使し、社会の発展のために積極的に関与できる。
- 2.自ら学修計画を立て、主体的に学ぶことができる。
- 3.相手の伝えたいことを的確に理解し、有効な方法で自己を表現できる。
- 4.課題を発見し、情報や知識を複眼的、論理的に分析し、その課題を解決できる。
- 5.学士課程教育を通して、人類の文化、社会、自然、地域及び専攻する学問分野における知識を理解し、身に付けた技能(実践力)を活用できる。

■カリキュラム・ポリシー〔教育課程の編成・実施の方針〕

(学士課程)

宮崎大学では、医学部、医学部、工学部、農学部、地域資源創成学部を置き、ディプロマ・ポリシー(卒業認定・学位授与の方針)に掲げる資質・能力を備えた人材を養成するため、以下の方針に基づいて教育課程を編成・実施します。

【教育課程の編成】

- 1.学生の修得すべき学修成果を重視し、教養教育と専門教育の区分にとらわれず、体系的な学士教育課程を編成する。
- 2.基本的な学習能力の獲得のため、すべての学生が履修する基礎教育カリキュラムとして、導入科目(大学教育入門セミナー、情報・データリテラシー、外国語コミュニケーション)、課題発見科目(専門教育入門セミナー、環境と生命、現代社会の課題)と学士力発展科目を設置する。
- 3.専門的な方法論と知識を体系的に学ぶために、学科・課程専門科目を設置する。
- 4.地域を志向した教育・研究・地域貢献を推進するため、学士課程に地域の理解と課題解決に取り組む科目を設置する。
- 5.専攻分野を超えて学際的な視点を養う科目を設置する。
- 6.獲得した知識や技能を統合し、課題の解決と新たな価値の創造につなげていく能力や態度を育成するために、卒業研究等の科目を設置する。

【教育内容・方法】

- 1.各授業科目について、到達目標、授業計画、成績評価基準・方法、事前・事後の学習の指示、ディプロマ・ポリシーとの関連を明記し、周知する。
- 2.基礎教育カリキュラムの導入科目、課題発見科目において、アクティブラーニングを取り入れた教育方法を実施し、初年次から学生が自ら学修計画を立て主体的な学びを実践できるようにする。
- 3.専門教育において、知識・理論と実践を融合し、主体的に考える力を養うために、講義、演習、実験、実習、実技などの授業形態に加えて、多様な教育方法を取り入れて指導を行う。
- 4.学士課程教育において、地域の理解を深める題材を取り入れ、地域の課題解決を実践できるようにする。

【学修成果の評価】

- 1.学修目標の達成水準を明らかにするために、成績評価基準・方法を策定・公表する。
- 2.個々の授業科目においては、成績評価基準・方法に基づき、定量的又は定性的な根拠により厳格な評価を行う。
- 3.学修成果を把握するために、教育活動、学修履歴、及び学生の成長実感・満足度に係わる情報を適切に収集・分析する。
- 4.ディプロマ・ポリシーに基づく学生の学修過程を重視し、在学中の学修成果の全体を評価する。
- 5.GPA制度を導入し、客観的で透明性の高い成績評価を行う。
- 6.学生が学修目標の達成状況をエビデンスを持って説明できるよう学修成果の可視化を行う。

■アドミッション・ポリシー〔入学者受入・選抜の方針〕

(学士課程)

宮崎大学では、ディプロマ・ポリシー(卒業認定・学位授与の方針)及びカリキュラム・ポリシー(教育課程の編成・実施の方針)に掲げた、社会の発展に積極的に貢献する人材の育成を目指しています。そのため、以下の「求める学生像」に示す、知識・技能、思考力、及び意欲を持つ人を国内外から積極的に受け入れます。

【求める学生像】

- 1.本学の教育理念に共感し、入学後の学修に充分対応できる基礎的な知識・技能を有する人。
- 2.身に付けた知識・技能を応用して問題を解決する上で必要となる思考力を有する人。
- 3.身に付けた知識・技能及び思考力を地域社会や国際社会において自ら積極的に活用し、その発展に貢献する意欲を持った人。

【入学者選抜の基本方針】

- 1.求める学生像に沿って、多様な入学者選抜方法により多面的・総合的に選抜する。
- 2.客観的で透明性のある方法によって、公平に選抜する。

CONTENTS

宮崎大学の教育	3
キャリア支援	4
OB・OGメッセージ	5
教育学部	7
学校教育課程	
■小中一貫教育コース 小学校主免専攻	9
■小中一貫教育コース 中学校主免専攻	11
■教職実践基礎コース	13
■発達支援教育コース 子ども理解専攻	15
■発達支援教育コース 特別支援教育専攻	17
医学部	19
■医学科	21
■看護学科	23
工学部	25
工学科	
■応用物質化学プログラム	27
■土木環境工学プログラム	29
■応用物理工学プログラム	31
■電気電子工学プログラム	33
■機械知能工学プログラム	35
■情報通信工学プログラム	37
農学部	39
■植物生産環境科学科	41
■森林緑地環境科学科	43
■応用生物科学科	45
■海洋生物環境学科	47
■畜産草地科学科	49
■獣医学科	51
地域資源創成学部	53
■地域資源創成学科	55
大学院	57
キャンパスマップ	59
年間行事・サークル活動	61
学生生活	62
資料請求・出願方法	63



宮崎大学の教育

-宮崎に学び 未来を切り拓く-

宮崎大学はグローバルデザイナーを育成

宮崎大学が掲げる教育のスローガンが「宮崎に学び、未来を切り拓く人材(グローバルデザイナー)の養成」です。宮崎を学びのフィールドとしてさまざまな経験を通じて世界の変化を学び、豊かで活力ある社会の創造に向けてチャレンジする行動力のある人、それがグローバルデザイナーです。

能動的学修(アクティブラーニング)へ転換

学生中心の双方向の授業を実施することによって、学生一人一人が自ら考え、答えのない課題に解を見いだしていく学修(アクティブラーニング)へ転換し、学士課程教育では多くの科目においてアクティブラーニングを実施します。

(注)学士課程教育とは…学部レベルの教育のことをいいます。学士という学位を与える課程(プログラム)を中心とした概念です。

基礎教育と専門教育との連携

それぞれの学科・課程は、学位授与の方針(ディプロマ・ポリシー)によって育成すべき資質・能力・人材像を明確に定義しており、すべての学科・課程はその学習目標が達成できるよう基礎教育と専門教育が効果的に関連づけられたカリキュラムを編成しています。

基礎教育のラインナップ

知識とスキルの基本を身につける。

大学教育入門セミナー

大学生としての生活や主体的な学習活動を始めるのに必要な基礎的な知識・スキルを修得すること、所属する学科・課程の教育内容や将来のキャリア形成について理解すること、日本語によるライティングの知識・スキルを協同学習によって修得すること、などを目指しています。少人数教育とアクティブラーニングが特徴です。

情報・データリテラシー

コンピュータの概念、情報セキュリティ、情報倫理、情報の収集・分析の方法、表やグラフによる表現、統計に関する基礎的知識について理解を深めることを目指しています。

外国語コミュニケーション

専門分野で実際に使える英語運用能力を修得すること、英語以外の言語の初步について学習すること、異文化を理解すること、などを目標としています。

学際的な学びで視野を広げる。

学士力発展科目

この科目は、多様な学習経験を通して幅広い知識を修得すること、基礎レベルの科目で身についた知識・スキルをさらに発展させること、などを目指します。

自ら課題を見出し、解を見いだす。

専門教育入門セミナー

学部の専門分野で主体的な学習を始めるのに必要な基礎的な知識・スキルを修得すること、専門分野で解決すべき課題を見出し、それを解決するための手法を学ぶこと、専門分野における倫理的問題について理解すること、などを目指しています。少人数教育とアクティブラーニングが特徴です。

環境と生命

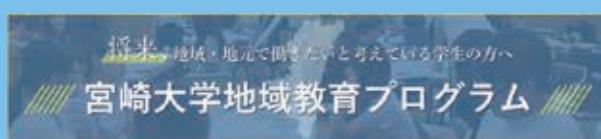
環境と生命の関係を理解すること、環境問題を系統的に考察すること、などを目指しています。環境破壊を防止するために私たちは何をしなくてはならないのかについて議論します。環境分野の授業では少人数クラスにアクティブラーニングを取り入れます。

現代社会の課題

現代社会の諸問題について具体的な事例を通して学びます。特にここでは、宮崎大学の教育全体を貫く課題意識を形成し、学習した知識を社会の具体的な場面に応用する方法について考えます。少人数教育とアクティブラーニングが特徴です。

数理・データサイエンス・AI教育の充実

本学では、2019年度～2021年度において、大学の数理・データサイエンス教育の全国展開における協力校として取り組みを進めてきました。引き続き、Society5.0で求められる数理的思考力を身に付けた人材の育成を図るため、情報・データリテラシーや学士力発展科目などに動画コンテンツ教材や演習を導入し、文・理を問わないリテラシーレベルでの数理・データサイエンス・AI教育を充実させる教育プログラムを全学的に進めています。



宮崎大学には地域で活躍するために必要な知識や能力を興味に応じて、どの学部でも学べるプログラムがあります。

2つの資格・認定を
取得可能

宮崎の産業を広く学び、地域を支えたい
みやざき産業人材認定証

地域で活躍する社会人の話を聞いたり、地域と人と関わりを持ちながら学習したりすることを通じて、様々な分野で活躍できる人材を育成します。プログラムでは、座学、実習、オンライン型、プロジェクト型、インターンシップなど様々な形式の科目が用意されています。興味や関心に合った科目を選び、所定の単位を取得することにより、コースに応じた資格が手に入ります。

地域を学び、そのリーダーになりたい
地域活性化・学生マイスター



宮崎大学のキャリア支援



学生のキャリア自律を図るために、就職活動の時期だけでなく、在学中から自分の将来を見据えて、大学生活を有意義に過ごすことができるよう、全学生へのキャリア形成支援の取組を実施しています。

①キャリア支援

インターンシップ支援



インターンシップ合同説明会

キャリア支援及び就職に対するミスマッチを防ぐことを目的として、インターンシップの支援を行っており、複数の企業・官公庁によるインターンシップ合同説明会を実施しています。また、本学の学務情報システムで、各企業・官公庁から届いたインターンシップの案内を検索することができます。

とっても元気!宮大チャレンジ・プログラム



とっとも元気!宮大チャレンジ・プログラム
成果発表会

本学独自のキャリア支援として「とっとも元気!宮大チャレンジ・プログラム」を行っています。本プログラムは、将来、社会でリーダーとしての活躍を期待される宮大生の企画、運営そして実施する能力を高めるとともに、学生ならではの自発的かつ積極的な活動を通して、宮崎大学から発信した活性化の波を広くつなげていくことを目的としています。

②就職支援

就職ガイダンス



就職ガイダンス

就職活動に役立つ面接対策やエントリーシートの書き方、自己分析、職務適性テスト、業界研究等のセミナー・ガイダンスを時期に応じて開催しています。学生の皆さんのが参加することで、その時期に応じた対応を学び、就職活動を進められるようにしています。

個別に応じた就職支援



個別に応じた就職相談

豊富な経験と専門的な知識を持ったキャリアアドバイザー、ジョブポーターによる相談体制を設けており、一人ひとりの個性や希望に沿った就職先が見つかるようきめ細かい支援を行っています。また、集団面接やグループディスカッションなど、実践的な実技指導も充実しています。

大学独自の会社説明会



宮崎大学合同会社説明会

企業選択に役立てて頂くために、毎年3月に合同会社説明会を開催しています。例年多くの企業の参加があり、学生が直接企業の人事担当者から、話を聞くことができます。この他に、単独会社説明会も随時開催し、より詳しく会社の情報をることができます。また、公務員就職希望者のために、公務員説明会も実施しています。

企業訪問、官公庁訪問の職場見学バスツアー

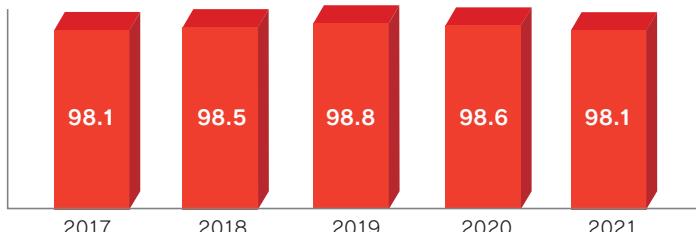


職場見学バスツアー

働く方々の声を聞き、学生生活において普段味わうことができない企業の雰囲気や地域・地元企業の魅力に触れ、幅広い業種研究の参考などに役立ててもらうことを目的として、例年夏季休業期間に県内の企業及び官公庁の職場見学バスツアーを行っています。

【2021年度】 学部卒業生 就職率(速報値)

98.1%



主な就職先企業・団体

(2021年度卒業生実績)

県外企業・団体

熊本県経済農業協同組合連合会、熊本県森林組合連合会、全国森林組合連合会、大分県農業協同組合、日鉄鉱業、三井住友建設、九電工、大成建設、伊藤ハムウェスト、日本ハムファクトリー、東レ、丸東産業、久光製薬、パナソニック、TOTOアクアテクノ、タカラスタンダード、住友電気工業、京セラ、九州電子、シャープセンシングテクノロジー、ソニーLSIデザイン、ダイハツ工業、西部ガスエネルギー、九州電力、シャノン、ダイレックス、コスモス薬品、デリカフーズ、南九州ファミリーマート、イオン九州、ネクステージ、西日本シティ銀行、肥後銀行、日本貿易振興機構

県内企業・団体

JA宮崎中央、JA宮崎経済連、宮崎県漁業協同組合連合会、児湯食鳥、宮崎県農協果汁、南国興産、霧島酒造、南日本酪農協同、霧島ホールディングス、MFE HIMUKA、ホンダロック、興電社、共立電機製作所、日本情報クリエイト、ケーブルメディアワイワイ、MJC、デンサン、MANGO、ハンズマン、高鍋信用金庫、宮崎銀行、キャデック、植松商事、国立大学法人宮崎大学

公務員

厚生労働省、農林水産省、国土交通省中部地方整備局、国土交通省九州地方整備局、防衛省、林野庁、労働基準監督署、熊本国税局、宮崎県庁、宮崎県警、宮崎市役所、都城市役所、延岡市役所、日南市役所、川南町役場、西都市役所、福岡県庁、熊本県庁、大分県庁、鹿児島県庁

教員

宮崎県小学校、宮崎県中学校、宮崎県高等学校、宮崎県特別支援学校、宮崎県内幼稚園、福岡市小学校、福岡市小学校、北九州市小学校、熊本県小学校、熊本県中学校、熊本県特別支援学校、熊本市小学校、鹿児島県中学校、長崎県小学校

順不同、敬称略



OB・OG

Message

それぞれの夢に向かって、努力し道を切り拓いてきた先輩たちから、夢を追うみなさんに向けた応援メッセージです。



岩田 葉南さん

宮崎市立大塚小学校 教諭
令和3年3月
学校教育課程小中一貫教育コース
小学校主免専攻音楽専修 卒業

協働的な学びの場

私は今、小学校の教諭として働いています。担任として子どもたちと共に過ごす日々は、毎日が学びと発見に溢れていて、とても充実しています。また、新型コロナウイルスへの対応はもちろん、ICTの活用など、時代の変化に伴い、様々な工夫をしながら過ごすことは、大変なこともありますが、やりがいや達成感を感じることができます。

大学では、授業や実習を通して、友人たちと協働しながら学べたことがとても印象に残っています。友人たちと課題解決を図ったり、実践したりしながら学んだ四年間は、まさに今の私の礎になっています。高校生の皆さんも、熱心にご指導くださる先生方や切磋琢磨し合える友人たちがいるこの環境で、共に学ぶ楽しさを味わいながら学んでください。



田邊 哲哉さん

株式会社アニマルエスコート
サービス 神戸どうぶつ王国
動物管理課 動物診療室
獣医師
令和2年3月 獣医学科 卒業

すべての学びを自分のものに

私は動物園で獣医師として働いています。獣医学科では基本的には犬・猫・牛・豚・鶏・馬の医療について学びますが、私が働く動物園には現在140種類以上の動物がいます。卒業して初めて診療した動物はリスで、初めてオペをした動物はスカンクでした。もちろん触れたことも学んだこともない動物ばかりで、卒業後も日々勉強しています。

では大学で学んだことが役に立たないのか？全くそんなことはありません。大学で得た基礎的な動物医療の知識をもとに、近い動物種の治療を真似したり、国内外の動物園での経験談や論文を参考にしています。そういった情報の探し方も大学で得た知識の一つです。経験豊富で優しい先生方ばかりなので気軽に質問や相談もできますし、社会的なことも多く学ぶことができました。

せっかく大学に入学するのなら、欲張って専門知識もそれ以外の知識もたくさん学び、全力で大人たちを頼り、全力で友達と遊び、存分に学生生活を謳歌してください。





二見 彩文さん

宮崎大学医学部附属病院
6階東病棟 看護師

令和3年3月
医学部看護学科 卒業

大学での学びを糧に日々成長！

私は宮崎大学医学部附属病院で看護師として働いています。

私は元々地元宮崎で看護師として働きたいと思い、看護学科のある宮崎大学に入学しました。大学ではたくさんの講義と実習を受けながら、同じ看護職を目指す仲間と切磋琢磨し、充実した日々を過ごすことができました。そのような日々を通して、私は将来患者さん一人ひとりに寄り添える看護師になりたいと思うようになりました。

私の働く6階東病棟は急性期の病棟であるため、日々状態の変化する患者さんを前に高度な知識とスキルが求められる職場です。緊張感のある仕事ですが大学で学んだことを実践に活かしながら、自分自身の成長を日々実感しています。

大学では様々なことを学び経験することができます。皆さんも大学生活でたくさんの経験を積んで、夢に向かって成長できる人になってください！



川畑 直也さん

株式会社テレビ宮崎
営業部

令和3年3月
地域資源創成学科
地域産業創出コース 卒業

自分を再発見する4年間に 新たな自分を見つける4年間

私は現在、株式会社テレビ宮崎で営業部の一員として働いております。

私は大学に進学したものの、将来に向けこれといった具体的な目標はありませんでした。そんな私ですが、4年間で勉強や遊び、アルバイトにサークル活動など、多くの活動をし多くの人と交流する中で、自分はこういうことが得意でこういうことが苦手なんだと再発見することができました。自分の得意なことをどう社会に活かしていくのか、苦手なことをどう克服していくのか、そういうことを考えるきっかけとなった4年間でした。

皆さんも大学で多くのことに挑戦し、多くのことを学び、多くの人と交流して自分を見つめなおし「新たな自分」を見つけてみてくださいね。



若松 あむさん

DOWAホールディングス
エコシステムリサイクリング
株式会社 出向
技術課 技術開発グループ

平成29年3月
環境応用化学科 卒業
平成31年3月
工学研究科 修士課程 工学専攻
環境系コース 修了

夢に繋がる「糧」を見つける。

私は今、DOWAホールディングス(株)の社員として、エコシステムリサイクリング(株)へ出向しています。主に電子材料スクラップからの貴金属(金、銀、白金など)のリサイクルを効率良く、安全に行うための技術開発を任されています。

宮崎大学では、充実したカリキュラムがあり、基礎的な知識から、技術者として必要なスキルまで、多くのことを得ることができます。特に、研究室では、仲間たちと切磋琢磨して課題に取り組み、学会や国際シンポジウムに参加するなど、自分の将来の糧となるものを沢山見つけることができました。

大学生活で経た経験は、社会に出てからも、自分を更に飛躍させる大きなパワーになっています。是非みなさんも、宮崎大学で様々なことを経験し、自分の視野を広げ、「これだ！！！」という夢を探してみて下さい。

